

< 1. コースリスト画面 >

The screenshot shows the WebClass interface. At the top, there are navigation links for 'ログアウト' (Logout) and 'コースリスト' (Course List). A callout bubble points to the 'お知らせリスト (管理者/登録コース)' (Notice List (Admin/Registered Course)) section, which displays a list of recent notices with details like 'システム管理者 - 02/18 更新' and 'e-Learning入門/学習支援システム概論 (2013) - 01/19 更新'. On the left, a 'メニュー' (Menu) callout points to the sidebar containing 'ユーザ管理' (User Management), 'マニュアル' (Manual), and 'リンク' (Links). A larger callout bubble at the bottom left explains the 'コースリスト' (Course List) section, stating '上: 時間割表' (Top: Timetable) and '下: 運用中のコース' (Bottom: Active Courses). The main content area features a '時間割表' (Timetable) for the year 2014, with columns for days of the week and course sections (1限 to 8限). Below the timetable, there are sections for '運用中のコース' (Active Courses) and 'ロックされたコース' (Locked Courses).

WebClass へのログイン直後に表示されるページです。

左カラムにメニュー，右カラムにメイン画面が表示されています。

メイン画面上部には管理者から全体へのお知らせや各登録科目でののお知らせが表示されています。

その下に担当科目（以下コース）の一覧が表示されています。

時間割表： 開講時限が決まっているコースは，こちらに表示

運用中のコース： 開講時限が限定されていないコースは，こちらに表示

時間割表の横の年度，学期を変更することで，表示コースの年度・学期を変更することができます。ログイン直後は現在の年度・学期が自動的に選択されています。

「時間割表」もしくは「運用中のコース」のコース名をクリックすることで，そのコースのメインページに移動できます。

→ < 2. コースメニュー画面 >

上メニューの左端，「>>ログアウト」をクリックすると，ログアウトできます。

WebClass の利用を終了する際は，必ずログアウト処理を行ってください。

(ログアウト処理を忘れた場合，次回ログイン時に警告画面が表示されることがあります。)

< 2. コースメニュー画面 >

The screenshot shows the course menu interface. At the top, there is a navigation bar with 'ログアウト' (Logout) on the left and '学生としてログインする' (Login as student), 'メッセージ' (Message), 'マイレポート' (My Report), and 'ノート' (Note) on the right. Below this is a breadcrumb trail: 'コースリスト > コースメニュー'. A callout bubble labeled 'お知らせリスト' (Notice List) points to the 'お知らせリスト' (Notice List) link in the top navigation. The main content area is divided into sections: 'お知らせ' (Notice), 'コンテンツ一覧' (Content List), 'ユニット' (Unit), '会議室' (Meeting Room), '資料' (Material), and 'テスト/アンケート' (Test/Questionnaire). Each section has a sub-menu and a 'このページの先頭へ' (Back to top of this page) link. A callout bubble labeled 'コンテンツ一覧' (Content List) points to the 'コンテンツ一覧' (Content List) link. A callout bubble labeled 'メニュー' (Menu) points to the left sidebar menu.

メニュー

お知らせリスト

コンテンツ一覧

< 1. コースリスト画面 >でコース名（科目名）をクリックすると表示される、コースのメイン画面です。

左メニューには、操作可能な機能が一覧で並んでいます。

- コンテンツ管理
- 成績管理
- メンバー管理
- コース管理

などなど

各メニューの[+]をクリックするとサブメニューが表示されます。また[-]をクリックするとそのサブメニューが隠れます。

右側には、先生がコースに作成・登録したコンテンツの一覧が、種類別に表示されます。

また、コースリスト画面と同様「管理者からのお知らせ」が画面上部に表示されています。またこのコースに関するメンバーへのお知らせを「>>管理画面」から登録することも可能です。登録したお知らせは、このコースの登録者（学生・教師とも）がログインした時に画面上部に表示されるようになります。

学生からのお知らせやコンテンツ一覧がどう見えているかは、上部メニューの「学生としてログインする」を選択すると確認できます。

上メニューの左端、「>>ログアウト」をクリックすると、ログアウトできます。

< 3 - 1. コンテンツ : 資料 >

「資料」とは、テキストや資料を学習者に提供するコンテンツです。

Word ファイルや Powerpoint ファイルは、PDF などに変換して、ブラウザ上で閲覧できます。
また、ファイルをそのまま学習者にダウンロードさせることもできます（上画面の「添付資料」）。
一つの「資料」には、複数のファイルを載せることが可能です。

（資料 5-1 参照）

また、音声ファイル (MP3, Windows Media Audio など)、動画ファイル (Windows Media Video, MPEG4(H.264) など) も登録できます。

ただし、動画ファイルはサイズが大きくなりがちなので、できるだけ容量を小さくするなど工夫をお願いいたします。

< 3 - 2. コンテンツ : テスト/アンケート >

The screenshot shows a web interface for submitting a report. At the top, there is a blue navigation bar with buttons for '終了' (End), 'しおりをつけて閉じる' (Bookmark and close), 'メッセージ' (Message), 'マイレポート' (My Report), and 'ノート' (Note). Below this is a breadcrumb trail: '> コースリスト > コースメニュー > テスト/アンケート > レポート'. The main content area is divided into a left sidebar and a main panel. The sidebar contains the course title '○○○学入門', the report title '第1回レポート課題', the user name '長瀧 寛之さんがログイン中', and navigation buttons for '[前のページ]', '[次のページ]', 'しおりをつけて閉じる', and '終了'. The main panel displays the question text: 'コンピュータ活用教育の将来について論じなさい。' and '文書はWordファイルに作成して提出すること。'. Below the text is a text input field with a '参照...' button, followed by a 'レポート提出' button. A blue notice states: '設問1つにつき1つの課題ファイルを提出できます。' (You can submit one assignment file per question), '同じ設問に提出すると提出済みのファイルはキャンセルされます。' (If you submit to the same question, the submitted file will be canceled), and 'ファイルサイズは 10 MB までです。' (File size is up to 10 MB). Below the notice is a '(10)' label. At the bottom of the main panel, there are navigation buttons for '[前のページ]', '[次のページ]', 'しおりをつけて閉じる', and '終了'.

「テスト/アンケート」とは、その名の通りテストやアンケートを行えるコンテンツです。

テストとアンケートは、学習者にひとまとまりの問題（質問）を出して解答/回答を記入してもらうという点で、実は大部分の機能が共通しています。違いがあるのは、学習者の解答/回答に対する扱いです。

テストは解答に対して採点や成績表示などの管理ができます。選択式問題や単語入力問題などは、自動採点も可能です。

対してアンケートは採点機能がなく、代わりにアンケート集計機能で回答の自動集計結果を閲覧可能です。

(資料 5-4 参照)

この機能の一番簡単な使い方は、レポート管理です。学習者には Word ファイルでレポートを提出させ (上図)、教師側で一つ一つレポートを確認しながら手動で採点結果を書いていくというやり方です。自動採点はできませんが、簡単に設定できることと、提出状況や採点結果を WebClass 上でまとめて管理できる利点があります。

(資料 5-2 参照)

逆に、単語テストなど大量の小問を解かせるテスト課題を出したい場合は、自動採点機能を使ったテストを作成しておけば、大人数を相手にした採点作業も大幅に楽になります。

< 3 - 3. コンテンツ : 会議室 >

The screenshot shows a web interface for a '会議室' (Meeting Room). The top navigation bar includes '会議室を閉じる', 'メッセージ', 'マイレポート', and 'ノート'. The breadcrumb trail is '> コースリスト > コースメニュー > 会議室 > 掲示板'. The left sidebar contains '○○○学入門' with a sub-link '相互連絡用掲示板', a user status '長瀬 寛之さんがログイン中', and a '掲示板メニュー' with links to '会議室のトップへ戻る', '質問/テーマの一覧', '管理者モード', and '投稿件数一覧'. Below this is a '記事の検索' section with a search input and a '検索' button, and a '会議室を閉じる' button.

The main content area is titled '相互連絡用掲示板' and contains a '新しい質問/テーマの投稿' form. The form fields are: '投稿者' (長瀬 寛之), 'タイトル' (empty), '添付ファイル' (empty), and 'メッセージ' (empty). There is a '参照...' button next to the file field and '投稿' and 'リセット' buttons at the bottom.

Below the form is a list of messages. The first message is from 'notitle' with a link to edit/delete the article. It is marked '既読にする'. The message text is: '長瀬 寛之 2010-03-02 14:51:26 授業に関する質問や回答などに役立ててください'. The second message is from 'Re:notitle' with a link to edit/delete the article. It is also marked '既読にする'. The message text is: '長瀬 寛之 2010-03-02 14:52:01 返信は誰でも行えます.'. Both messages have a link 'この記事に返信する'.

「会議室」は、学生同士、あるいは教師と学生間のテキストでのやりとりを行うコンテンツです。

会議室として、**掲示板**や**チャット**、**Wiki** など、インターネット上のコミュニケーションツールとしてよく使われる機能が提供されています（上画面例は「掲示板」）。

会議室は複数設置可能です。作成時に必要項目を入力するだけですので、設置自体は非常に簡単です。

ポイントはそれぞれの会議室ごとに利用者を限定できることです。これによって、例えばグループ活動などで、学習者グループごとに会議室を作って、**メンバー限定の情報交換や相談場所**、また**成果物の置き場所**として使うこともできます。教育支援機能としては、誰がどれだけ投稿あるいは編集したかを集計表示することも可能です。

利用者の限定方法は、ユーザの学生番号を列挙する方式と、予めグループを設定しておいてそのグループ名を指定する方式があります。

< 3 - 4. コンテンツ : ユニット >

ユニット ▶ 新規作成 ▶ 編集/削除 ▶ 表示設定

▶ 第1回 [-] 長瀬 寛之 2012-04-03 14:16:58 ▶ 編集 ▶ 学習履歴[162]

- 第一回アンケート	2012-04-14 実施
- 第一回レポート課題	2012-04-14 実施
- 第一回レポート課題 (×切後提出用)	

▶ 第2回 [+] 長瀬 寛之 2012-04-16 11:29:51 ▶ 編集 ▶ 学習履歴[187]

□ 利用可能時間 [2012/04/16 10時20分~2012/08/05 23時00分]
□ コース管理者はいつでも、何回でも実行可能です。

▶ 第3回 [+] 長瀬 寛之 2012-04-22 14:47:41 ▶ 編集 ▶ 学習履歴[123]

▶ 第4回 [+] 長瀬 寛之 2012-04-30 20:21:32 ▶ 編集 ▶ 学習履歴[105]

□ 利用可能時間 [2012/05/01 10時20分~2012/08/31 20時20分]
□ コース管理者はいつでも、何回でも実行可能です。

「ユニット」は、他の3つのコンテンツとは性格が違います。

複数のコンテンツをまとめるフォルダの役割を持つ、「メタ」コンテンツです。

ユニットを用いることで、例えばこんな使い方ができます。

- ・授業回ごとにユニットを作成 (上図)
各回の資料、会議室、テストページをまとめて、毎週一ユニットずつ公開
- ・学習トピックごとにユニットを作成
複数の解説ページをひとまとめにするなど、授業資料のグルーピングに利用
- ・「最低限これを見よ」という名のユニットを作成
その時に学習者に注目して欲しいコンテンツだけ、随時ユニットに登録

活発に WebClass を活用しようとする、必然的に資料やテスト、会議室などコンテンツの数が増えてきて、それらを一気に表示すると、どこに何のコンテンツがあるかわかりにくくなってしまいます。その場合はユニットを上手く使うことで、学習者に見せたい情報を整理することができます。

また他のコンテンツと同様、ユニット自体にも公開日や閲覧メンバーの制限を設定できます。

複数の資料をまとめて公開/非公開設定できるので、たくさんコンテンツを管理する際は便利です。

ユニットの仕組みを理解して使いこなすには多少コツが必要ですが、上記の使い方を見て「これは便利そうだな」と思った方は、ぜひトライしてみてください。

< 3 - 5. コンテンツ : 設定画面 >

ユニット オプション設定

タイトルを入力し、下にある操作ボタンをクリックしてください。
□ ユニットとは資料やテスト/アンケートをつなげてひとつの教材にする機能です。

基本設定

(必須) タイトル 'New'
マーク

アクセス制限

[-] 教材実行時の制限

日時制限 する しない から
 まで

実行回数の制限 回

利用できるメンバーを限定する

□ ユニットを実施できるメンバーの学籍番号をカンマ(,)で区切って入力してください。
□ ワイルドカード * 任意の一文字? で指定

IPアドレス制限
□ 例 192.168.1.*, 192.168.2.*

[+] ユニットオプション

コンテンツごとに設定できる内容には違いがありますが、いずれにも共通する設定項目があります。最低限、以下の設定項目の存在は覚えておくとよいでしょう。

< タイトル >

コンテンツのタイトルです。

< アクセス制限 >

コンテンツをどのような形で学習者に表示するかを設定します。

「コースメニューで表示する」にすると、コンテンツへのリンクが学生の画面にも表示されますが、「コースメニューで非表示にする」を選択すると、ユニットに登録しない限り学生に表示されません。ユニットを活用する場合は「非表示」を、そうでない場合は「表示」を選択すると良いでしょう。

< 日時制限 >

そのコンテンツをメンバーに公開する期間を、分単位で設定できます。

< 利用できるメンバーを限定する >

学生番号を記入（複数の場合はカンマ区切りで列挙）することで、そのコンテンツを閲覧できるメンバーを制限できます。

特定の学生にのみ見せたい、あるいはグループごとに別々のコンテンツを提示したい場合などに使えます。

< 4. メンバー管理（登録/変更/削除） >

ユーザを検索して登録/削除

氏名

学籍番号

ワイルドカード* 任意の一文字? で指定
複数の条件は or で連結

ファイルで一括登録/削除

現在のメンバー

» 現在のメンバーリストをダウンロード

author (1) user (11)

前のページ | 1 | 次のページ

<input type="checkbox"/>	表示順	表示	氏名	学籍番号	コース権限	
<input type="checkbox"/>	1	<input checked="" type="checkbox"/>	長瀧 寛之	71590737	Author	» 権限の詳細
<input type="checkbox"/>			岡大 桃太郎	okadai	User	» 権限の詳細
<input type="checkbox"/>			テスト学生 1208	test1208	User	» 権限の詳細
<input type="checkbox"/>			テスト学生01	teststu1	User	» 権限の詳細
<input type="checkbox"/>			テスト学生10	teststu10	User	» 権限の詳細
<input type="checkbox"/>			テスト学生3	teststu3	User	» 権限の詳細
<input type="checkbox"/>			テスト学生4	teststu4	User	» 権限の詳細
<input type="checkbox"/>			テスト学生5	teststu5	User	» 権限の詳細
<input type="checkbox"/>			テスト学生6	teststu6	User	» 権限の詳細
<input type="checkbox"/>			テスト学生7	teststu7	User	» 権限の詳細

「メンバー管理」の「登録/変更/削除」からは、そのコースにアクセスできるユーザを、教師が設定することができます（上図）。新しい学生/教師/TA をコースのメンバーとして追加したり、逆に削除したりすることもできます。

WebClass ではコースに対する管理権限として、**Author**、**Author(TA)**、**Author(SA)**、**Observer**、**User** の 5 種類があります。「>>権限の詳細」をクリックすることで、さらに細かい権限の設定が可能です。最低でも以下 2 つの権限を覚えておけば問題ありません。

Author : 教師権限です。コース内の全てのコンテンツの作成や編集、閲覧が可能です。

User : 学生権限です。コース内のコンテンツ作成、編集権限を持っていません。

ユーザの権限は、コース管理者（ここで言う **Author**）が自由に設定できます。

設定した権限はこのコース内でのみ有効です。つまり、通常は **User** 権限の学生ユーザを、特定のコースだけ **TA** として **Author** 権限を持たせる、といったことが可能です。逆に、通常は **Author** 権限の教員ユーザでも、あるコースだけ **User** 権限に設定することも可能です。

（例えば今回の講習会でも、「WebClass 講習会 (20xx/xx/xx)」(括弧内は講習会の日付) コースでは、参加者の皆さんを **User** 権限で登録しているため、コンテンツの閲覧はできても編集ができません)

なお、「権限の詳細」をクリックすると、より細かい権限設定ができます。たとえば「テスト問題の追加はできるけど、削除や成績付けはできない」、といった部分的な編集権限を与えることも可能です。